



◆リハビリテーション科診療科長に就任して 依田 光正

平成30年4月1日にリハビリテーション科診療科長を拝命しました依田 光正（よだ みつまさ）と申します。

これまで昭和大学病院で勤務しておりましたが、前任の笠井准教授と入れ替わる形で赴任いたしました。昭和大学病院も当院も急性期病院であり、同じような位置づけにあります。リハビリテーション科は入院ベッドを持たず、他科入院患者さんのコンサルテーションを中心に行っております。リハビリテーション科が急性期から関わることで、より早く、より良い形で患者さんに社会復帰してもらうことが私たちの役目であり、昭和大学病院ではICU・救急センターでの早期リハビリテーションや嚥下障害に対する嚥下リハビリテーションに力を入れてきました。赴任して1か月ですが当院でも求められていることは同じようなことと感じます。しかし、同じ急性期病院でありながら昭和大学病院とはシステム的なことを含め“リハビリテーションの仕方”が異なるところも多く、戸惑うばかりか中にはこれで良いのかと首を傾げたくところもあります。これは当院から旗の台へ移られた笠井准教授も同じ思いに直面していると想像します。そしてリハビリテーションの仕方の違いは他科の先生方にもご迷惑をおかけしていることかとも思います。実のところ、昭和大学病院では東病院リハビリテーション室開設、言語聴覚士採用、電子カルテ導入などリハビリテーションにとって大きな変化があったばかりで、まさに「さあ、これから！」というところでの今回の異動であり、いささか気分的には青天の霹靂のといったところだったのですが、1つの病院のことではなく、どの附属病院でも同じように最高のリハビリテーションを提供できるよう“昭和の急性期リハビリテーション”を確立し、“ONE SHOWA”を実践することが今回の異動の意義であると理解しております。

昭和大学江東豊洲病院、ひいては昭和大学のリハビリテーションがより良いものとなり、全ての患者さんに昭和大学の病院に入院して良かったと思っただけのように微力ではありますが尽力したいと考えております。何卒よろしくお願いいたします。



第50号のトピックス

- 診療科長に就任して
- 放射線技術部長に就任して
- 看護の日 / 公開講座案内
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記



昭和大学江東豊洲病院

◆放射線技術部長に就任して 秋山 真之

この度、平成30年4月1日付けで、放射線技術部の部長を拝命いたしました秋山 真之(あきやま まさゆき)と申します。就任にあたり皆様にご挨拶申し上げます。私は診療放射線技師として昭和大学病院放射線部に就職し、昭和大学歯科病院・昭和大学藤が丘病院を経て、昭和大学江東豊洲病院に勤務となりました。診療放射線技師の業務としては核医学部門に携わる時間が最も長く、放射線管理の業務にも長く携わってきました。その他、血管撮影部門、放射線診断部門も経験させて頂きました。学歴といたしましては、平成27年3月に昭和大学大学院保健医療学研究科診療放射線領域で修士取得し、現在は特別研究生として在籍させていただき博士取得を目指しています。また、昭和大学大学院保健医療学研究科診療放射線領域で教員職も兼務しています。



さて、この平成30年4月より放射線室から放射線技術部に変更となりました。プロの技、医療人としての心、情熱をもって、臨床・教育・研究を発展させる放射線技術部となるよう取り組んでまいります。

昭和大学の建学の精神である「至誠一貫」はいつも心に留めております。教育・研究・社会への貢献が求められるとよく言われますが、中でも大切なものは教育であるというのが私の基本的な考え方です。心から患者さんのために診療を行い、誠心誠意取り組める診療放射線技師の教育は大変重要だと思っています。

人材育成としては、臨床・教育・研究を通じてリーダーシップを発揮できる人材を育成することが重要な使命だと思っています。

また、今年の築地市場の豊洲移転や2年後のオリンピックが東京で開催され、急速な人口増加が予想される豊洲地域の中で、当院は地域の中核病院として役割を果たせるように、過去の経験と新しい発想力を生かして放射線機器をはじめ、病院全体が効率的に運営できるように尽力したいと考えております。皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。



🐼 看護の日イベント 🐼

5月12日は「看護の日」というのはご存知でしたか？ナイチンゲールの誕生日にちなみ1990年に制定されました。この日には看護の心を普及するイベントが、全国の病院、施設で開催されています。今年度は生誕より1日早い5月11日(金)に、当院看護部でもイベントを開催しました。1階総合



受付付近、2階総合外来、女性外来受付前の3か所で患者さんや付き添いの方、時にスタッフも対象に、新人看護師による血圧測定やベテラン看護師による保健相談を行いました。最初は緊張して患者さんになかなか声を掛けられない、血圧測定も不安げに行っていた新人ですが、慣れてくると患者さんとのコミュニケーションもスムーズで、積極的に声をかけ、明るく笑顔あふれるイベントとなりました。午前、午後の部で合計184名の方が足を運んでくださいました。今年はブースで行うだけでなく、各科診察室、検査室前の待合の患者さんに声をかけ、その場で血圧を測り、お話を聞くことで、待ち時間の苦痛をほんの少し和らげることができたかもしれません。参加していただいた方にはマスクや絆創膏、ボールペン等を配布しました。

短い時間でありましたが、患者さんと充実したふれあいの時間が持て、新人もベテランも患者さんと向き合うことコミュニケーションの大切さ、「看護の心」を再認識することができました。



◆公開講座案内

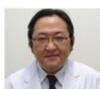
第8回 昭和大学江東豊洲病院公開講座 『暮らしと健康』

日時 平成30年 7月7日(土) 開演 14:00~16:30
受付時間13:45~

演題 夏の病気について

「室内でも危険！熱中症の予防方法」

昭和大学江東豊洲病院 救急センター 教授
弘重 壽一



「脳卒中にならないためには、そして脳卒中になったら」

昭和大学江東豊洲病院 脳血管センター 教授
池田 尚人



開催場所

東京都江東区豊洲5-1-38
昭和大学江東豊洲病院 9階講堂

申込先 ☎03-6204-6000
お電話にて 昭和大学江東豊洲病院
申込ください 管理課

費用 先着 **100名** 費用無料

主催 昭和大学
後援 江東区



平成30年7月7日(土) 14:00より

第8回 昭和大学江東豊洲病院公開講座を

開催いたします。

昭和大学江東豊洲病院では、住民の皆様にわかりやすく医療の知識を深めていただくために、公開講座を年2回開催させて頂いております。

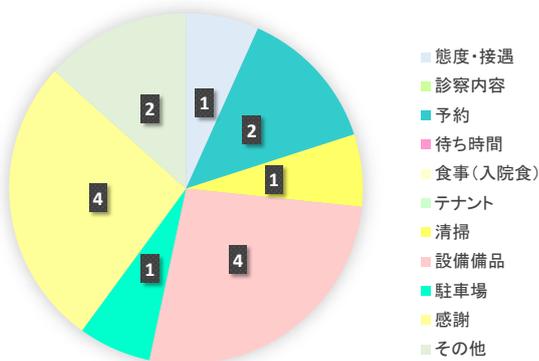
つきましては、平成30年度第1回の公開講座を開催致しますので、受講を希望される方は、電話にてお申し込み下さい。

多数のご応募をお待ちしております。

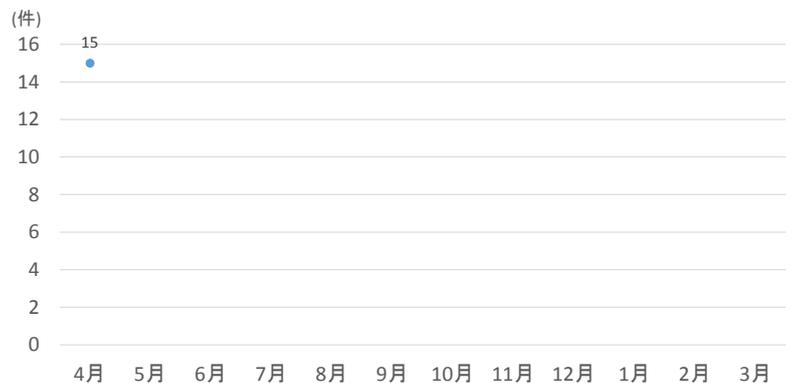
◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>デイルームの給茶器の横に紙コップを置いてほしい。</p>	<p>同様のご意見が多数寄せられましたため、平成30年5月1日より下記の給茶器へ紙コップを設置いたしました。 【設置場所(計5ヶ所)】 8階デイルーム、7階デイルーム、6階デイルーム、 周産期センターデイルーム、こどもセンターデイルーム 回答部署：管理課</p>
感謝	回答
<p>みなさんには本当にお世話になり感謝しかありません。自分の知っている病院の中で一番清潔で明るい病院です。先生や看護師さんの説明も親切丁寧で、なんの不安もありませんでした。しかし、皆さんのお仕事は本当に忙しそうで、毎日大変なんだろうと想像がつかます。私たちが安心して通院できるように、皆さんの職場環境や待遇が良いものであることを願ってやみません。</p>	<p>この度はお褒めの言葉をいただき、誠にありがとうございます。 患者さんに医療上必要な処置を行うのはもちろんのこと、心地よく医療に専念していただけるようスタッフ一丸となって邁進しております。このようなお言葉を賜りますと、職員一同非常に励みになります。 今後とも、患者さんやそのご家族にとってより良い病院づくりに努めてまいります。 回答部署：管理課</p>

平成30年4月分
ご意見・要望の内訳
昭和大学江東豊洲病院総件数15件



平成30年度ご意見・ご要望の推移



編集後記 医療課 宇賀 彩織

あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わりました。私は、梅雨といえば雨が降り続き、空気がジメジメしている憂鬱な季節だと感じてしまいます。そんなマイナスのイメージが強い梅雨ですが、雨の同じリズムが絶えず繰り返される音は、人の心を落ち着かせてくつろいだ気分にさせてくれるリラックス効果があるそうです。考え事をしたりして集中できない時には、雨音に耳を傾けてみるのも良いかもしれません。今年の梅雨は、雨の良いところを活かして過ごしていきたいです。

